

海外経済

| | | 2015年9月 | 2015年10月 |
|---------|--------|--|--|
| 世界経済 | | <p>世界の景気は、アジア新興国等において弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融政策正常化に向けた動きの影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、原油価格下落の影響、地政学的リスク等について留意する必要がある。</p> | (変更なし) |
| アメリカ | | <p>アメリカでは、景気は回復が続いている。</p> <p>先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、金融政策正常化に向けた動きの影響、原油価格下落の影響、ドル高の影響等に留意する必要がある。</p> | (変更なし) |
| アジア地域 | 中国 | <p>中国では、景気は緩やかに減速している。</p> <p>先行きについては、各種政策効果もあり、安定的な成長は維持されるものと見込まれる。ただし、不動産価格や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p> | (変更なし) |
| | その他アジア | <p>韓国では、景気は減速している。台湾では、景気は弱い動きとなっている。インドネシアでは、景気はやや減速している。タイでは、景気は減速している。インドでは、景気は持ち直している。</p> | (変更なし) |
| ヨーロッパ地域 | ユーロ圏 | <p>ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、ギリシャ問題への対応やその影響、失業率や物価の動向、地政学的リスクの影響に留意する必要がある。</p> | ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、失業率や物価の動向、地政学的リスクの影響等に留意する必要がある。 |
| | 英国 | <p>英国では、景気は回復している。先行きについては、回復が続くと見込まれる。</p> | (変更なし) |